

平成 25 年度事業報告

自 平成 25 年 6 月 4 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

公益社団法人 京都デザイン協会

平成 25 年度事業報告にあたって

私たち社団法人京都デザイン協会は、設立以来 45 年間にわたり、デザイン力で人々の生活を豊かにし、調和のとれた社会をつくることを大きな目標として、会員はもとより、京都府、京都市、京都商工会議所をはじめ、多くの団体、企業様のご理解とご協力のもと、デザインを通しての社会的貢献を果たしてまいりました。

そして、平成 25 年 6 月 4 日、公益社団法人京都デザイン協会として新たな活動を開始いたしました。

理事長 奈良磐雄

1. 京都デザイン賞事業（公1）

1200年の歴史に培われた京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて新しい京都のデザイン創出を図ることで、地域デザインの活性化及び地域産業の振興を目的とした事業を、以下の要領にて審査会・入選作品展・表彰式・作品講評会・交流会等を行った。

【事業概要】

提案部門（製品化・実用化することを前提としたもの）と作品および製品部門（既に製品化・実用化されているものに限る）の2部門からなり、それぞれ4分野から作品を募った。

第1分野 グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン

第2分野 ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3分野 プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

第4分野 ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ

【募集告知の方法】

1. 応募要項をデザイン関係企業、デザイン関係大学、会員企業等に郵送。
2. ホームページでの告知およびメールマガジン、SNS等へのネット配信。
3. 京都府庁秋の一般公開における広報と連携を行った。

【応募総数】

71社（人）応募点数：89点

【審査会】

審査日：平成25年10月12日（土）～10月13日（日）

場 所：京都市立芸術大学円形ホール

【審査員】

審査員委員長：奈良磐雄（公益社団法人京都デザイン協会理事長）

第1分野：杉崎真之助（グラフィックデザイナー・大阪芸術大学教授）

第2分野：滝口洋子（京都市立芸術大学教授）

第3分野：北條崇（プロダクトデザイナー・京都造形芸術大学准教授）

第4分野：新井清一（建築家・京都精華大学教授）

全分野共通：中島信也（株式会社東北新社取締役・CMディレクター）

京都府 京都市 京都商工会議所 京都新聞社、京都デザイン協会正会員

【審査結果】

京都デザイン大賞 1点

京都府知事賞	1点
京都市長賞	1点
京都商工会議所会頭賞	1点
京都新聞社賞	1点
学生賞	1点
入選	29点

【入選作品展】

日 時：平成 25 年 10 月 29 日（火）～ 11 月 4 日（月） 10：00～ 17：00

場 所：京都府庁旧本館 2 階

入場者数：1,100 名

【表彰式・作品講評会】

日 時：平成 25 年 11 月 4 日（月） 16：00～ 17：40

場 所：京都府庁旧本館 2 階正庁

出席者数：53 名

【交流会】

日 時：平成 25 年 11 月 4 日（月） 18：00～ 21：00

場 所：京都平安ホテル

出席者数：66 名

入選者、応募者、デザイナー、デザイン関連業務に携わる者、デザインに関心を持つ者を対象に、審査員および正会員との相互交流を図り、新たなデザイン事業へと繋がった。

【主 催】

公益社団法人 京都デザイン協会

【後 援】

京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業 21、京都府中小企業団体中央会、京都市立芸術大学、京都意匠文化研究機構、京都新聞社、京都新聞 COM、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

【協 力】

京都芸術家国民健康保険組合、(株)染織と生活社、(株)田中直染料店、府庁旧本館利活用応援ネット、(株)リーフ・パブリケーションズ

【協 賛】

京都造形芸術大学、京都外国語大学、京都精華大学、京都芸術デザイン専門学校、京都嵯峨芸術大学、(株)祇園平八、イワモトエンジニアリング(株)、(株)高橋工務店、刀剣 開陽堂、(有)エム・イー・エフ、松井建設(株)、(株)アー

トバンク、(株)アイビー長崎、(株)アルクインターナショナル、豊技塾 徳
舩瓦店(有)、(株)かわな工業、北白川天然ラジウム温泉、京菓子司 一善や、
NPO 法人京都伝統工芸情報センター、弁護士法人佐渡春樹法律事務所、(株)
穴粟住建、ターナー色彩(株)、(株)ターレンスジャパン、(株)大京リアルド、
(有)ティアック、(株)TNCブライダルサービス、(株)ナカタニ工務店、(株)
西村工務店、(株)フクナガ、ホルベイン工業(株)、BAL中澤(株)、まつもと
クリニック、京都履物(株)、(株)PALM、(株)みっくす、(株)おのみやす本
舗、湯の宿 松栄 誠の湯、永正染工(株)、(株)きつずファイブ、アドバンス
トマテリアル ジャパン(株)、(株)西川紙業、オリックス・ファシリティーズ(株)

2. デザインアドバイス事業(公1)

2-1. デザイン相談会

2-1-1. デザイン相談会(通期)

日 時 : 電話・メール予約にて(月)から(金)までの13:00か
ら17:00受付。予約受付後に選任された会員が相手方と
日程調整を行い、個々に対応を行った。

周知方法: ホームページ・印刷物(伝統産業関連企業、京都府、京都市、
京都商工会議所、公益財団法人京都産業21、等)への配布。

対 象 : 一般の企業・個人・団体

2-1-2. 「平成25年度宇治市観光ポスターコンペ」デザイン選定のア ドバイス

日 時 : 平成25年9月3日(火)

担 当 : 古川加津夫

2-1-3. 「海の京都」プロジェクト 天橋立地域再整備構想のデザイン アドバイス

日 時 : 平成25年10月2日(水)午後1時

場 所 : 天橋立駅2階会議室

内 容 : 文殊自治会、天橋立文殊繁栄会、天橋立総合事業(株)、宮
津市企画総務室、宮津市産業振興室、宮津市建設室まち景
観係と、2014年度に開通予定の京都縦貫自動車道全線開通
に合わせての再整備事業に関する情報共有と意見交換を行
う。

担 当 : 奈良磐雄、大石義一、才門俊文

2-1-4. 「三条名店街お店キャラ総選挙」

内 容 : 三条名店街商店街振興組合が主催する、キャラクター導入により商店街活性化とデザイナーの卵に発表の場を与えることを目的とした事業への運営アドバイスをを行った。

京都造形芸術大学、京都嵯峨芸術大学の学生が、商店街の参加店舗 35 店のイメージキャラクターをデザイン。

投 票 : 平成26年1月18日(土)～26日(日)の間、参加店舗、デジタルサイネージで表示し、一般の人々が気に入ったデザインを投票し、最優秀賞1名、優秀賞5名を決定し表彰。

担 当 : 藤原義明、鈴木秀信、辻勇佑

2-1-5. 「与謝野町優良品審査会」および現在の商品のブラッシュアップへのアドバイス

日 時 : 平成26年2月10日(月) 13:00～17:00

場 所 : 岩滝保健センター

担 当 : 奈良磐雄

2-1-6. 「ぬくもり京都丹波」ブランドに関するデザインアドバイス事業

平成22年にスタートした、行政と障害者事業所の協働事業に参画。京都南丹地域の障害福祉施設グループ(15施設が参加)の「ほっとはあと製品」から、独自性、地域性、市場競争力があり、品質の高い「ほっとはあと製品」を選定し、南丹発のオリジナルブランド『ぬくもり京都丹波』として売り出す事業の、選考審査ならびに生産関係者へのデザインアドバイスをを行うもの。

本年度は4年目になる事業で、各事業所、南丹保健所、京都ホットはあとセンターから30余名が参加し、事業所からエントリーのあった製品から、新たに「ほっとはあと製品」を選定。その後、商品についてアドバイスをを行った。

日 時 : 平成26年2月19日(水) 9:00～

場 所 : 丹波マーケス

担 当 : 奈良磐雄、田中聡、山岡敏和

2-1-7. デザイン相談会(出張窓口)

デザイン展で同時開催される「デザイン相談会」では、多種多様なデザイナーが一般の人や企業の方々からデザインに関する相談を気軽に

受け付ける窓口を会場内に設けた。

日 時：平成25年10月29日（火）～11月3日（日）6日間

午前10時～午後5時

会 場：京都府庁旧本館2階「正庁」「デザイナーの仕事・展」会場内

相談料：無料（事前予約により受付た）

周知方法：ホームページ・印刷物（伝統産業関連企業、京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業21、等）への配布を行った。

対 象：一般の企業・個人・団体

相談者：8組

相談内容：和菓子の商品開発とパッケージデザイン

洋菓子の包装、プロモーション方法

贈答品等のパッケージデザイン

町家店舗のリニューアル

デザイン系企業への就職について

販売促進に向けた店舗のリニューアル

菓子販売促進方法

企業パンフレットのデザイン

担 当：井上昌彦、大野好之、田中聡、土居英夫、松原出

3. 伝統工芸デザイン支援事業（公1）

京都の文化伝統を背景に培われた工芸品に今の時代性を加味し新しいニーズの創出を目指すためのデザイン支援を行なう事業。京都デザイン協会会員・学生会員、一般学生と、伝統工芸に携わる個人・小規模企業との共同研究として実施した。

目 的：京都の伝統工芸に携わる経営規模が小さく、財政的基盤が弱い個人や企業等の伝統工芸分野活性化のためのデザイン支援

企 画：当協会と大学など研究機関による共同商品開発

①業態調査・研究により提案方法の構築（システムの考案）

②現地調査・ワークショップ

③商品提案（プレゼンテーション）→（③'公開展示）

④採用案の商品化計画

⑤商品開発

支援先：色紙短冊協同組合青年会

京都伝統工芸協議会

3—1. デザイン支援「色紙のアイデア」

新しい「色紙」や新しい「色紙の使い方」のデザインを募集し選択活性化を図った。

対 象：一般の企業・個人・団体

参 加：19名、作品数32点

入 賞：9作品

3—2. 伝統産業の日 2013 関連事業 平成25年度学生デザインコンペ

THE COMPE 一きものと帯一

日 時：平成25年10月から11月

主 催：THE COMPE 一きものと帯一 実行委員会／一般社団法人京都産業会館

募集・審査・展示の事業に後援した。

4. 研究・シンポジウム事業（公1）

4—1. 通りのデザイン事業（三条通プロジェクト）

概 要：かつて町内のコミュニケーションは「通り」を軸に形成されていた。「通り」は生活文化の中心であり、街並景観は住民の意識の表現とも言える。「通りのデザインを考える」ことが町の将来を考えるキーポイントであるという共通認識のもとに、三条通りをモデル事業として、デザイナー、大学、学生、地域住民、行政、企業など関心のあるものが集まり、景観、観光、交通、商業、生活など様々な観点から市民、大学、企業、団体と一緒に調査・研究を進めてきた。

- ・三条通を京都観光のための「歩く街道」として位置づけ、京都の都市の中心軸と設定する。
- ・その中心軸としての三条通は、観光客が歩いて自分だけの観光ルートを発見するための基軸になる通りである。
- ・このような三条通の魅力を探るために、調査、研究を経て、「三条通を都市軸とした新たな京都観光の姿」のレポートが完成した。

レポート要約：

テーマ：三条通を都市軸とした新たな京都観光の姿

1. 三条通の現況から観た全体像

a、京都観光の東西の軸線としての三条通

- b、公共交通機関との連携
 - c、三条通と京の河川、運河の魅力
 - d、三条通の特性（歴史・文化、景観、祭り・イベント、賑わいなど）
2. 新しく見直した三条通の魅力の発見
- a、デザイナーが発見した三条通の魅力
3. 都市軸としての三条通の整備に向けての提案
- a、三条通全体像の提案・花街道（歩いて発見する京都観光の魅力づくり）
 - ・8つの商店街の連携（イベントの共有、共同）
 - b、ブロック別の個性ある整備（新規観光地点の発掘、道路景観整備）

5. 会員の創作・研究・発表とデザイン向上を図る事業（他1）

5—1. 会員展

名 称：「おかしな わがし展」

目 的：一流の和菓子職人とのコラボレーションに取り組むことで、伝統文化に対しての、デザイナーの視点による新しい提案によって地域の活性化を図り、併せて会員間の相互交流を図る。

内 容：有職菓子御調進所「老松」さまの特別なご厚意により KDA 会員によるデザインを基に創作された和菓子を写真展示する。

日 時：平成25年5月9日（木）～5月14日（火）

会 場：3F PROJECT ROOM Tel / Fax 075-255-0188

〒604-8101 京都市中京区柳馬場御池下ル柳八幡町7-5-6

TNCビル3F

広 報：ハガキ1,000枚、ホームページにて告知する。

新聞記事掲載：京都新聞記事掲載

参加者：20名（会員：18名、非会員2名）

井上昌彦、土居英夫、大石義一、久谷政樹、田中聡、堀野美雪、今津聡子、山岡敏和、家原恵太、山本朝美、小山比奈子、奈良磐雄、辻中進、才門俊文、辻勇佑、竹林善孝、藤原義明、エリック・ルオン、川口凱正、古川加津夫

入場者数：312人

5—2. 会員展

名 称：「おかしな わがし展」＜秋田展＞

目 的：前掲5—1

内 容：前掲5—1

日 時：平成25年11月19日（火）～12月1日（日）
10：00～20：00

会 場：秋田公立美術大学サテライトセンター・ギャラリー
秋田駅前フォンテ AKITA 6階

入場者数：250人

新聞記事掲載：秋田魁新報社に掲載

5—3. デザイン展

名 称：[デザイナーの仕事・展] 2013

日 時：平成25年10月29日（火）～11月3日（日）6日間
午前10時～午後5時

会 場：京都府庁旧本館2階正庁

入場料：無料

入場者数：906人

新聞記事掲載：各紙に掲載

後 援：京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業21、京都府
中小企業団体中央会、京都市立芸術大学、京都新聞社、NHK京都放送
局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：株式会社俄、株式会社グッドマン裏具プロジェクト、株式会社高橋工
務店、辻井木材株式会社

内 容：デザイナーの仕事とその社会的役割をわかりやすく表現し、一般の方々
にデザインの力とその価値を広く伝えていくことを第一の目的として
いる。京都府庁旧本館「正庁」において、参加する各分野のデザイナー
が過去の成功実例などをもとに、日常の生活や事業の活性化にデザイ
ンがいかにか効果的であるかを分かりやすく伝える。同時開催の「デザ
イン相談会」では、一般の人から企業の方へデザインに関する相談を
受け付ける窓口を設けた。

参加者： 27名

会員：16名

井上昌彦 大石義一 大野好之 岡本一真 片倉文恵 官能右泰
才門俊文 竹林善孝 田中聡 土居英夫 中西ひろむ 奈良磐雄
久谷政樹 藤原義明 松原出 山岡敏和

非会員：11名

新井清一 魚谷繁礼 窪田謙二 黒川ツナ子 宮内ちあき 住谷晃

也 橘浩貴 長坂大 根橋聡子 安原三郎 ピーター・ボロンスキー

5—4. デザイン展<秋田巡回展>

名 称：[デザイナーの仕事・展 2013] <秋田巡回展>

会 期：平成25年11月19日（火）～12月1日（日）

会 場：秋田公立美術大学サテライトセンター・ギャラリー

秋田駅前フォンテAKITA6階

内 容：前項5—3. デザイン展の作品を秋田市にて展示する。

広 報：「週刊アキタ」平成25年11月22日に掲載

入場者数：460人

5—5. 会員展

名 称：うまい京都の酒に酔う、デザインに酔う

「京都の日本酒にデザインで乾杯！展」

内 容：伝統的な技術と原材料を使って伝統工芸品などを生産する、京都の伝統産業と、会員である各分野のデザイナーが協力して制作に取り組む。デザイナーの視点による新しい提案を行ない展覧会を開くことで、地域・業界の活性化を図り、併せて会員間の相互交流を図る。

日 時：平成26年3月25日（火）～25日（日）

会 場：ゼストギャラリー

京都市中京区御池通寺町東入下本能寺前町492-1

広 報：ハガキ1,500枚、ホームページにて告知する。

新聞記事掲載：京都新聞記事掲載

参加数：26名（会員：25名、非会員1名）

井上 昌彦、大石 義一、エリック・ルオン、大入 達男、岡本 一真、片倉 文恵、川口 凱正、官能 右泰、小山 比奈子、才門 俊文、鈴木 秀信、高濱 豊、竹林 善孝、田中 聡、辻 勇佑、辻中 進、土居 英夫、奈良 磐雄、久谷 政樹、藤田 誠、藤原 義明、古川 加津夫、堀野 美雪、本郷 大田子、山岡 敏和、吉川 弥志

参加料：8,000円

入場者数：635人

6. 会員相互の交流を目的とした事業（他2）

協会会員の目線に立って相互の親睦・交流を行い活性化を図った。

6—1. 交流会の開催

6—1—1. 第33回京都デザイン会議 懇親会

日 時：平成25年7月19日（金）18：00～21：00

会 場：菜館 wong（嵐電帷子ノ辻下車すぐ）

参加数：10名

6—1—2. 「近デ協デザインサロン2013・京都」

日 時：平成25年10月5日（土）15：00～19：30

会 場：京都堀川イン 1階 雅ルーム

主 催：近畿圏デザイン協会協議会

参加数：22名

6—1—3. 会員交流親睦会

「京都デザイン賞2013」入選者、「デザイナーの仕事・展」出品者、協会会員による交流親睦会を行った。

日 時：平成25年11月4日（月）18：30～20：30

会 場：京都平安ホテル

参加数：66名

6—1—4. 交流親睦会

京都デザイン関連団体協議会メンバーによる交流親睦会を開いた。

日 時：平成26年1月29日（水）18：40～20：00

会 場：ネロ・パッソ（四条京極上ル）

参加数：54名

6—2. KDA サロンの開催（年2回）

今年度事業は実施せず。

6—3. Designers Mini Cafe

会員同士や会員と地域の人達（数人）との小規模で気軽なコミュニケーションの機会を随時持つことができた。

6—4. 国際交流事業

久谷政樹監事が中国の西安建築科学大学建築学院の招聘で作品展、講演会を行い、京都デザイン協会は協力を行った。

6—4—1. 「久谷政樹 スクリーン印刷ポスター展」

日 時：平成25年10月19日～11月24日

会 場：西安市 西安建築科学大学建築学院

6—4—2. 講演会

日 時：平成25年10月19日、20日 19：30～

会 場：西安市 西安建築科学大学建築学院

6—5. 他団体との交流事業

6—5—1. 京都ものづくり協力会

○京都ものづくり協会設立総会・交流会

日 時：平成25年4月19日（金）午後5時30分～6時

場 所：京都センチュリーホテル

議 案：平成25年度事業計画・収支予算案について

6—5—2. ファッション京都推進協議会

○ファッション京都推進協議会 平成25年度総会

日 時：平成25年6月27日（木）午後3時～4時

場 所：京都商工会議所 第2会議室

議 案：平成24年度事業報告、平成25年度事業案について

○企画委員就任及び第1回企画委員会

日 時：平成25年8月2日（金）10：00～11：00

場 所：京都商工会議所 3階役員室

6—5—3. 京都府中小企業団体中央会

○京都府中小企業団体中央会 第58回通常総会

日 時：平成25年6月27日（木）15：00～

場 所：ブライトンホテル

○平成25年度賀詞交換会

日 時：平成26年1月6日（月）10：00～12：00

場 所：ブライトンホテル

6—5—4. 京都府「伝統と文化のものづくり産業振興審議会」

○京もの工芸品「京都オークション」出品作品審査会

日 時：平成26年12月19日（木）10：00～12：00

場 所：京都伝統工芸館

○京もの工芸品「京都オークション」オークション

日 時：平成26年3月18日（火）18：30～

場 所：京都伝統工芸館

○京都府「伝統と文化のものづくり産業振興審議会」第7回審議会

日 時：平成25年2月5日（水）10：00～12：00

場 所：ホテルルビノ京都堀川

6—5—5. 京都府「あったか京都推進会議」

○京都府「あったか京都推進会議」委員会

日 時：平成26年1月28日（火）15：00～17：00

場 所：京都平安ホテル

6—5—6. 「近デ協デザインサミット 2013・京都」

日 時：平成25年10月5日（土）15:00～

会 場：京都堀川イン 1F 雅ルーム

内 容：第一部 伊藤浩平氏（プロダクトデザイナー）の講演
第二部 奈良デザイン協会、堺デザイン協会、神戸デザイン協会、京都デザイン協会 各代表の近況報告、その他情報交換を行った。

参加数：22名

主 催：近畿圏デザイン協会協議会

6—5—7. 近畿圏デザイン協会協議会

・運営委員会

日 時：平成25年8月30日（金）17:00～

場 所：京都デザイン協会事務局

参加団体：堺デザイン協会、神戸デザイン協会、奈良デザイン協会、
京都デザイン協会

6—5—8. 震災復興支援協賛事業「めぶくアート展」

・2013年度「めぶくアート展」出品、展示、広報協力

日 時：平成25年8月28日（水）～9月1日（日）

場 所：開催会場 仙台市「グリーンプラザ」

6—5—9. 第55回NDK新人デザインコンテスト

・公開審査会・授与式に出席

日 時：平成25年11月14日（木）15:00～

場 所：京都府公館アルティ

6—5—10. 京都誂友禪染工業組合「第85回誂友禪染競技会」

・審査員で出席。賞状下付。

日 時：平成25年11月27日（水）16:00～

場 所：京都府文化博物館別館ホール

6—5—11. 平成25年度京都市景観賞 屋外広告物部門 選定事業

・審査会 審査委員

日 時：平成25年11月20日（水）第1回 10:30～12:00

平成25年12月18日（水）第2回 10:30～12:00

場 所：市役所庁舎、ホテル本能寺

・表彰式出席、京都デザイン協会賞2点授与

日 時：平成26年3月15日（土）13：00～15：00

場 所：ホテルグランビア京都

- ・京都市屋外広告物デザイン力向上講座 パネリストとして参加

日 時：平成26年3月8日（土）14：00～16：30

場 所：ホテル本能寺 西館 醍醐ホール

6—5—12. 京都伝統産業青年会創立50周年記念式典

日 時：平成26年3月1日（土）14：00～

場 所：ウェスティン都ホテル京都

6—5—13. 京都友禅協同組合 京友禅総合展「第65回京友禅競技大会」

- 後援・賞状交付・審査員として協力。

日 時：平成26年3月11日（火）13：30～16：30

場 所：京都市勧業館

6—6. 広報

会員相互の親睦と同時に、パブリックリレーションを図るために行った。

6—6—1. 広報誌 LOOK!KDAの発行

LOOK!KDA vol.7 秋号を平成25年10月発行。

6—6—2. 広報

- ・平成25年10月 平成25年京都府庁秋の一般公開パンフレットに掲載。

内 容：「公益社団法人京都デザイン協会告知」および「京都デザイン賞
入賞入選作品展とデザイナーの発言・展開催の案内」

- ・平成26年3月 平成26年京都府庁春の一般公開パンフレットに掲載。

7. 京都のデザイナーによるデザイン会議（他3）

7—1. 第34回京都デザイン会議の開催

京都デザイン関連団体協議会メンバーの各団体が、デザイン活動や事業を通じて課題としてきた京都文化の力を、どのように育むかについて語り合い、その思い・目的を共有し、同時に、本会議による京都力の活動の方向を探りつつ、京都デザイナーの未来の一つの指針になるような討議を行った。

テーマ：京都デザイナーの未来『京都力の活用』

日 時：平成26年1月29日（水）

午後3：30～6：30 基調講演・シンポジウム

午後6：40～8：40 交流会

会 場：ネロパッソ（新京極四条上ル）

京都市中京区新京極四条上ル中之町 557 TEL075-252-7769

参加者：53名

基調講演：「和の文化の継承」

・三輪泰司 京都デザイン関連団体協議会議長

シンポジウム：「京都力の活用に向けて」

パネラー：

山下晃正 一般社団法人 京都建築設計監理協会会長

黒竹節人 一般社団法人 京都国際工芸センター代表

奈良磐雄 公益社団法人 京都デザイン協会理事長

勝山龍一 京都伝統産業青年会会長

藤原裕三 公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会京都地区代表幹事

國吉幸一 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部京都地域会会長

平岡隆一 一般社団法人 日本デザイン文化協会京都理事長

コーディネーター：

大石義一 公益社団法人 京都デザイン協会副理事長

司会：藤原義明 公益社団法人 京都デザイン協会副理事長

7ー2. 京都デザイン会議機関誌の発行

名称：京都デザイン関連団体協議会広報誌

発行：京都デザイン関連団体協議会

内容：A4版 32ページ 500部

編集：京都デザイン協会

8. 収益事業（収）

該当する事業は無し。

●資料中の略称について

公益社団法人の事業は、大きく2つに分けられる。

- (1) 公益目的事業
- (2) 収益事業等
 - (2)－1, 収益事業
 - (2)－2, その他の事業（相互扶助等事業）

これらの事業を以下略称で示している。

(公1) →デザインを通じて地域基盤の向上と地域産業の振興を推進する公益目的事業

(収) →収益事業を表す。

(他1) →デザイナーである会員の創作・研究・発表を行い、そのデザインの向上を図る事業

(他2) →会員間相互の交流を目的とした事業

(他3) →京都のデザイナーによるデザイン会議